

【情報公開文書】

2021 年 1 月 12 日作成

Ver.2.0

研究課題名	空腸瘻造設症例の有用性と適応の検討
所属（診療科等）	長崎大学病院 腫瘍外科
研究責任者	荒井 淳一（助教）
研究機関	この研究は長崎大学病院 腫瘍外科のみで実施します。
研究期間	2021 年 3 月 16 日～2025 年 12 月 31 日
研究目的と意義	上部消化管狭窄や機能障害、上部消化管の術後に対して空腸瘻栄養管理は、術後の全身状態を改善させ術後感染症合併症を減少させ、縫合不全などの合併症発症時でも栄養状態を維持できます。しかし、腹部症状、チューブトラブル、腸閉塞などの合併症の報告もあります。空腸瘻造設された患者さんの空腸瘻関連合併症発生の因子や術後栄養状態推移、化学療法の治療経過を明らかにすることにより、適切な空腸瘻造設患者さんを選択し、合併症発生率を下げるができます。
研究内容	●対象となる患者さん 2010 年 1 月 1 日～2020 年 8 月 31 日の間に長崎大学病院で空腸瘻造設術を受けられた患者さんが対象となります。 ●利用する情報。 診断名、年齢、性別、併存疾患、既往歴、検査結果（血液検査、画像検査、病理結果）、手術関連情報、化学療法関連情報、進行度など 詳しい情報をお知りになりたい方は下記の問い合わせ先へご連絡ください。 ●研究の概要・方法 対象となっている症例の情報を診療録(カルテ)から収集し、腸瘻関連の合併症の有無、栄養状態推移や化学療法の治療成績を明らかにします。
問い合わせ先	【研究担当者】 氏名：荒井 淳一（医師） 長崎大学病院 腫瘍外科 住所：長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号 電話：095（819）7304 FAX 095（819）7306 【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 苦情相談窓口：医療安全課 095（819）7616 受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）